

令和 2 年度第 2 回区政会議における防災に関する意見要旨

- 1 日 時 令和 2 年 8 月 25 日（火）午後 6 時 30 分から午後 8 時 00 分
- 2 場 所 住吉区役所 4 階 大会議室
- 3 出席者
（委 員）松木議長、山下委員、大久保委員、岡本委員、金沢委員、小嶋委員、島谷委員、
友永委員、中西委員、野村委員、濱田委員、林委員、原田委員、山崎委員
（区役所）区長、副区長、各課長
- 4 グループディスカッション
・コロナ禍を踏まえた防災・防犯の取組について
- 5 主な意見
 - 入口での避難者の振り分けについて、高齢者はよく咳をするので、熱以外の症状で分けるのは難しいのではないかと。
 - コロナウイルスの関係で避難所へ行かず、車やテントで避難する人には、何かルールがある。
 - 避難者の振り分けは大変。振り分けを間違えると感染していない人が感染してしまうかもしれない。誰が判断するのか。一般と療養者の 2 つに分けず、グレイゾーンもいるかもしれない。
 - 熱咳等の症状から回復した時、どのタイミングで一般避難室へ移すのか。
 - 視覚障がい者の場合、避難所に誘導してもらう時に密にならないようロープなどを使う必要がある。災害によって避難場所が異なるが、できれば視覚支援学校が良いと思う。濃厚接触者とされ、検査のためにタクシーで行こうとしたら拒否された人がいるので、課題が多い。
 - 発災後の 3 日間をどう過ごすか。初期の対応方法についてのマニュアルがあれば良い。
 - ルールを決めすぎると「自粛警察」のようになる。
 - 自分が受付になったら悩む。臨機応変だが、ある程度のルールは必要。